

第 1 回 移 動 分 析 プ ロ ジ ェ ク ト 記 録

2025.4.24 実施 2025.4.28 作成

参加者：別紙参照

1、昨年度の振り返り（資料参照）

○分析から、主に横移動に課題が出る和田・百草周辺（第4コミュニティエリア）と、主に縦（団地および坂）の課題が出る愛宕・ニュータウン通り周辺（第5コミュニティエリア）に関しては、運動項目の該当者もやや他のエリアに比べ多いことから今後課題が顕在化される予測もあり重点エリアとした。

○上記各エリアは、買い物する場・医療機関・趣味活動の拠点がエリア内に少なく、それぞれに移動が課題となると予測され、詳細な現状把握と住民の意識を確認する必要項目の列挙を行った。

○アンケートの作成にあたっては、東京都介護予防・フレイル予防推進支援センターにもご協力いただき、第1層生活支援コーディネーターがたたき台を作成することになった。

2、移動に関するアンケートについての意見交換

・昨年度アンケート項目について検討したものをまとめたアンケート用紙を作成（別紙）。

・アンケートは郵送？TFPP で聞き取り？などを想定しているイメージでいる。自治会とのコラボ？各企業に協力依頼できるか？

※アンケートの結果をもとに、まるっとや自治会など様々な場で移動について取組みを進めていきたい

アンケート内容（ボリューム）と、アンケートの取り方について意見をもらいたい

【アンケートについての意見交換】

○対象年齢はどの程度か

→高齢者は詳細に年齢を把握する予定だが、全年齢型と想定

○アンケートの対象エリアは、限定的なのか

→全市的と考えているが、重点エリアは多くほしいところ

○アンケート後サービスにつなげるのか？

→つなげるのではなく、今の地域の状況を把握するもの それにより対策を考える

○アンケートの結果で課題が出たら多摩市が何をしてくれるのか

→結果の分析次第で、何ができるのかをまるっと協議体で考えたい

○どこからのアンケートか、ぱっと見わからない 答えにくい

○郵送なのか対面なのかによってもボリュームが異なるのではないか

○郵送されてきても、この量だと多くて回答がもらえないのでは？

○もっと細かいアンケートもあるので、この程度であれば回答してもらえるのでは？

○目次があると、全体像がわかりやすいし答えやすいか

○（住まいについて）丁名は、選択肢があったほうがいいのではないかと

○薬局は、待っている際にアンケートを依頼したら、この程度であれば回答してもらえると思う

○何かを書かなければいけない場所であれば、書いてもらえるのではないかと

○1.2.3の項目に関しては、同じように聞いていったほうがいいのではないかと（比較のためにも）

○買い物や趣味活動のような生活の楽しみ活動になるような移動の部分をよりしっかり聞けるよう、整理をしてきたところ。多摩市は郵送調査の回答率も高いと聞く。市から郵送されれば回答も見込めるか。字はもう少し大きくても。（東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

○足腰が弱い人にも回答してほしいと考えた時、郵送アンケートとなると回答率は下がるのではないか。（文字量と大きさ）おそらく、支援者に「なんて書いてある？」「書いておいてくれない？」となりがち。

→支援者になりうる人に、アンケートを実施する旨は共有したほうがいいか

○買い物・趣味活動・医療などのテーマに分けてアンケートを作成してはどうか

→項目の 1.4.5 バージョンと、2.3.4.5 バージョン、フルバージョンなど（文言は同じまま）？

→切り分けではなく、元気な方には郵送、要支援・要介護の方にはサービス提供時に依頼？など状態像によって手法を検討するという方法もあるか。（東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

○自由記述（項目 4）は、集計する際に困らないか 想定はあるか

→類型化・カテゴリー集計か 情報としては大事なので取ったほうがよい（東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

○多摩市の人口状況と近いエリアなどを選定してパイロット的に地区を限定して実施してみてもどうか。

→実施するのであれば、重点エリアにある自治会・管理組合・通いの場などとのコラボか？

○地域とコラボしたほうが回収率はあがるが数は少なくなり、郵送では回収率は下がるが数は増えるか

→研究ではないので、想定数は持っておきながらも、限定的に行ってみてはいいのではないか

→郵送と地域とのコラボを併用で行うと、2 回回答する人が出るという問題と、1 年後同アンケートを取るとするならばその整理の仕方は考えないといけない。

4, 今後について（決定事項）

【アンケート調査について】

まずは、重点エリアの自治会・管理組合・通いの場などの地域とのコラボでアンケートを実施。（和田百草周辺、愛宕ニュータウン通り周辺）すべての項目を調査したい旨を地域に相談して、モデル的に進めていく。回収率が低いなどあれば、見直しも検討。

アクション 5 月中に担当エリアの第 2 層生活支援コーディネーターと協議・自治会等への働きかけ

※今年度はアンケートから取り組みにつながるまでを目指す。

5, その他

【お知らせ】

生活支援プロジェクト、訪問 B の在り方検討チーム、まるっと全体会について、案内を適宜させていただくので、今後も興味あるプロジェクトにご参加ください。

【市から】

移動のモビリティの実証実験が貝取・豊ヶ丘などで動いているので、情報提供は適宜させていただきます。

以上

次回の移動プロジェクトは、アンケート実施後に開催予定